

氏名	飯岡由紀子	部署	研究開発センター	職名	教授
研究分野	臨床看護学、がん看護学、看護教育、Women's Health、慢性期看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	聖路加看護大学看護学部看護学科、聖路加看護大学看護学研究科博士前期課程、聖路加看護大学看護学研究科博士後期課程				
経歴	兵庫県立看護大学、聖路加看護大学、東京女子医科大学看護学部				
所属学会（役職）	日本看護科学学会（代議員）、日本がん看護学会、聖路加看護学会（評議員）、日本女性医学学会（幹事）、日本女性心身医学会（幹事）、日本緩和医療学会、日本乳癌学会、日本看護学教育学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	更年期障害患者への自律訓練法	単著	なし	日本自律訓練学会 42巻 2号	飯岡由紀子	2023年7月
2	エストロゲンレベル低下が更年期女性と産褥女性の愁訴に与える影響の比較	共著	あり	千葉県産科婦人科医学 学会雑誌 17巻1 号、8-14	田島恵、白橋真由、橋本志歩、杉山 重里、飯岡由紀子、小川真里子、高 松潔	2023年7月
3	更年期障害の患者に対する看護カウンセリングの効果の検討	共著	あり	日本女性医学学会誌 31巻、265-274	飯岡由紀子、小川真里子、高松潔	2024年1月
4	看護職の経験学習を促進するリフレクションマッププログラム（Reflection-Map Program: RMP）の開発と効果の検証	共著	あり	日本看護科学学会 43巻、676-688	飯岡由紀子、渡邊直美、田代真理、 高山裕子、榎本英子、廣田千穂、木 原円子、遠藤まりえ	2023年12月
5	就労妊婦が抱く身体活動への思いと行動	共著	あり	母性衛生64巻4号、 675-682	山本英子、飯岡由紀子	2024年1月
6	潜在性鉄欠乏への加療が奏功した思春期月経症候群の1例	共著	あり	女性心身医学28巻3 号、357-361	白橋真由、小川真里子、谷村史人、 柏崎奏絵、樋口敦彦、橋本志歩、飯 岡由紀子、高松潔	2024年3月
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	潜在性鉄欠乏への加療が奏功した思春期月経	共同		日本女性心身医学会、岡山	○白橋真由、小川真里子、谷村史人、柏崎 奏絵、樋口敦彦、橋本志歩、飯岡由紀子、 高松潔	2023年7月
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	スポンサードセミナー：治療に関する意思決定支援	単著		第38回日本女性医学学会学 術集会	○飯岡由紀子	2023年12月
2	スポンサードセミナー：更年期障害患者に対する看護カウンセリング	単著		第38回日本女性医学学会学 術集会	○飯岡由紀子	2023年12月
3	意思決定支援とセルフケア支援	単著		日本女性心身医学会 更年 期指導士	○飯岡由紀子	2023年9月

2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省科学研究費（基盤研究B）		チームの納得を促進するための看護師のコーディネート力向上プログラム開発と評価	研究代表者	2019～2023年度
2	文部科学省科学研究費（基盤研究C）		AYA世代婦人科がん体験者における女性性の危機と再適応を促す因果モデルの検証	研究分担者	2020 - 2023年度
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	がん看護学概論	○	8	がん看護領域において基盤となる理論・概念について理解を深めることを目標とした。多様な書籍や文献を用いて分析的かつ批判的に検討できるようにした。	
2	がん看護学援助論Ⅰ	○	15	がん看護専門看護師としての役割を遂行するために必要な知識、技術、態度と、専門職との連携についての理解を深める。多様な専門看護師を非常勤講師として招聘し、実践的な知識の修得に努めた。	
3	看護研究	○	9	看護の向上や発展をはかるために必要な看護研究の方法に関する基礎的知識・技術を理解し、看護学における研究の役割や研究プロセス、研究成果の臨床への適応について理解する。	
4	がん看護学援助論Ⅲ	○	15	緩和ケア、特に終末期ケアに焦点を当て、スピリチュアルケアや意思決定支援、看取りケアなどに関する理解を深める。また、地域や多職種チームでの看護実践についての学びから、がん看護専門看護師の役割を考究する。	
5	がん看護学援助論Ⅱ	○	11	がん患者の生活の再構築や治療と生活の両立を促進するための看護を学ぶことを目標とした。薬物療法、放射線療法の専門家からの講義の他、フィールドワークも行い理解を深めるようにした。	
6	看護倫理	○	8	保健医療福祉分野において、看護の実践・研究・教育を探求するために必須となる理論的基盤について学術的に考察する。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	がん看護学演習Ⅰ	○	30	がんリハビリテーションに焦点をあて、がん治療がもたらす生活への影響と身体的・心理社会的ニーズを踏まえて、治療中・治療後における患者のセルフケア能力向上のための方略について探究し、生活の質を高めるための看護を探求する。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	がん実践看護実習Ⅰ	○	学外実習：2週間	がん医療の連携・協働のあり方を検討するため、訪問看護ステーションと大学病院の地域連携部署の両側面から理解を深めるようにした。	
2	がん実践看護実習Ⅱ	○	学外実習：4週間	がん治療方針の決定と治療プロセスを理解し、ケアとキュアを融合した医療を判断し提供する能力を修得できること目標とした。実習指導体制を整備し、がん看護CNSの指導により目標が達成できるようにした。	
3	がん実践看護実習Ⅲ	○	学外実習：4週間	がん看護CNSの6つの役割について、がん看護CNSの指導のもと役割を遂行することを目標とした。組織分析をふまえ、主体的に役割を遂行できるよう指導者と連携しながら実習を展開した。	
4	IPW実習		4日間	チーム機能を促進させ、患者中心のケアプランの立案をすることを目指した。	

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	修士論文	2023年4月～2024年3月	主指導（指導教員）	7名 副指導（指導補助教員） 名
2	博士論文	2023年4月～2024年3月	主指導（指導教員）	2名 副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	慶應義塾大学 非常勤講師	2023年10月	助産師専攻学生が、更年期医療とケアの理解を深める。	
2	上智大学 非常勤講師	2023年5月	助産師専攻科学生が、更年期医療とケアの理解を深める。	
3	東京医療保健大学 大学院非常勤講師	2023年4月～5月	看護学研究科大学院生の看護研究と研究手法の理解を深める。	
4	聖路加国際大学 大学院非常勤講師	2023年5月	大学院ウィメンズヘルスCNSコースの院生に実践活動の展開を説明し、役割の理解を深める。	
5	聖路加国際大学 大学院非常勤講師	2023年11月	大学院ウィメンズヘルス専攻学生に、更年期医療とケアの理解を深める。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	SD研修会	国立看護大学校	臨地実習における学生への支援（教育上の調整）を考えよう	2023年5月
2	研修会	C&F協会	TRUE COLOERS入門編	2023年5月
3	講演	埼玉協同病院	看護研究初級編講座「看護研究」	2023年7月
4	健幸セミナー	さいたま市保健衛生局	女性ホルモンの観点からみた女性の健康	2023年7月
5	講演	獨協医科大学埼玉医療センター	看護研究研修会	2023年7月
6	研修会（4回）	東京女子医科大学八千代医療センター	リフレクションプログラム：答えはあなたの語る体験の中にある（3年目看護師）	2023年10月～12月
7	研修会	東京女子医科大学八千代医療センター	リフレクションプログラム：答えはあなたの語る体験の中にある（主任）	2023年11月
8	講演	埼玉県立がんセンター	「質的研究」基本のキ	2024年2月
9	SD研修会	国立看護大学校	臨地実習における学生への支援（教育上の調整）を考えよう	2024年3月
10	研修会	東京女子医科大学八千代医療センター	リフレクションプログラム：答えはあなたの語る体験の中にある（師長）	2024年3月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本看護科学学会	和文誌編集委員会		2021年8月～現在
2	日本がん看護学会	編集委員会		2021年4月～現在
3	日本女性医学学会	リエゾン委員会、編集委員会、専門医審査委員会		2021年4月～現在
4	日本女性心身医学会	利益相反委員会、渉外・広報委員会		2021年6月～現在
5	日本看護学教育学会	研究推進研究助成委員会		2021年6月～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会		2023年4月～2024年3月
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会		2023年4月～2024年3月
3	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント相談員		2023年4月～2024年3月

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		